

# 平成二十六年 高岡市消防団出初式



二月十二日(土)九時三十分より城東町地内にて

(出動人員 消防職員168名 消防団員892名)  
(出動車輛 消防署10台 消防団34台)

## 栄えある表彰

成美分団無火災表彰受章

(対象期間H24・7・19～H25・4・18)

精勤表彰(20年)：鷺北 稔班長

精勤表彰(5年)：江淵元将団員



分列行進のようす



出初式はしご乗りのようす



## ご挨拶

成美分団分団長  
室谷明雄

新年明けましておめでとうございます。

一昨年末に新しい消防ポンプ車が配備され、校下の皆様に祝って頂いてから早一年余りが経過いたしました。入魂式の折には、大変お世話になり改めて御礼申し上げます。

以前のポンプ車は二十五年間活躍いたしました。が、今度配備された新ポンプ車は一回り大きく、六人が前部車内座席に座れ、冬の巡回広報の時も暖かく大変喜んでおります。

放水口も以前は二口でしたが、四口に増えて水量もコンピューター制御で、より安全に素早く効率的に消火活動ができます。

昨年六月に行われた高岡市消防操法大会に成美分団が出場し、あいにくのどしやぶりのコンディションの中、選手諸君が本当に良く頑張り、早速新ポンプの威力を発揮させて出場十三分団の中で借しくも入賞を逃しましたが五位の成績でした。

今年も引き続き出場し、是非県大会出場を勝ち取りたいと意気込んでおります。

団員数名は、日頃から体力を養う為ランニングをして、高岡市主催のマラソンや駅伝大会に過去三回参加し、消防団活動への理解と団員募集のPRを行っています。

成美小学校の先生や児童の皆さんも、とても熱心に防災学習や訓練を重ねて、小学生火災予防発表大会県大会に出場され、見事銀賞の栄に輝かれました。

日頃より校下の皆様に多大なご理解とご協力を頂いております成美分団は、地域の安心安全を守るためより一層努力してまいります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 新消防ポンプ車入魂式

平成24年12月23日(日)  
於. 熊野神社



新消防ポンプ車のお祓い



入魂式（神前にて）



新消防ポンプ車による放水披露



参加者全員での入魂式記念写真

当日は、あいにくの雨となりましたが、高岡市消防団長様はじめご来賓の皆様、そして校下自治会の皆様、分団OBの皆様のご臨席を拝し、たくさんのご奉志やご祝辞を頂戴し、勢大に祝っていただきました。これも偏に、連合自治会長様はじめ、校下の皆様のお陰と、団員一同感謝いたしております。

皆様の御期待にお応えすべく、より一層訓練を重ねてまいります所存です。

# 第8回高岡市消防団消防操法大会

平成25年6月23日(土)  
於. スポーツコアグラウンド



操法開始前集合

## ■出場選手

- 指揮者 折本寛之班長  
1番員 関 尚宏団員  
2番員 林 靖浩団員  
3番員 井波大介団員  
4番員 室谷英夫団員  
補助員 村谷諭志団員



第二線標的落下場面



第一線延長の場面



第一線標的落下場面

消防団の消防操法大会は毎年全国で行われ、団員の消防技術や機械器具の安全適切な取り扱い方の修得と、規律や士気の向上を図る為に行われています。

高岡市では高岡、伏木、南部、福岡の各方面団が半分ずつ、2年に1回抽選して出場します。競技は選手5人が1線、2線各ホースを3本延長し63m先の標的を落とすタイムを競うものです。その間の動作に決まりがあって正確にやらなくてはなりません。標準タイムは1線50秒、2線60秒。これを習得するのに、去年は、5月連休から大会前日まで日曜を除きほぼ毎朝5:00~7:00頃まで練習をしました。練習をして、片づけが終わってから、

皆仕事に出掛けるのですから、選手はもちろん、団員皆、気力、体力共にとても大変ですが、大会を終えて全力でやり抜いた充実感は何にも替えがたいものがあります。



# 消防団発足120年、自治体消防65周年記念大会 天皇、皇后両陛下をお迎えして開催されました。

平成25年11月25日(月) 於、東京ドーム



全国から37,000人の消防団員が集まり東北の消防団が震災の御礼の垂れ幕を。



消防団ラッパ隊による演奏他、消防音楽隊やカラーガード隊と共に、隊形を変えながら演奏。



幼年、少年消防クラブの子ども達の鼓笛隊の演奏やバトン演技が上手で感動。



全国の有名な梯子乗り演技  
十数隊披露

天皇、皇后両陛下のご臨席を拝ぎ、安倍首相はじめ衆参両議長、最高裁判所長官、他大臣数名が出席され、徳光アナウンサーの司会で厳かに式典が開会され、来賓の方々から祝辞を頂戴しました。

両陛下、ご来賓のご退席の後、様々なアトラクションが披露され、中でも分団による梯子乗り演技や消防レスキュー隊の災害救助の実演は日を見張るものがありました。また布施明、水前寺清子、菅原文太、AKB48の出演もあり、誠に盛大な記念大会でした。

## 成美分団 高岡市のマラソン、駅伝大会に参加して 消防団活動のアピールと団員募集を呼び駆ける!



H25年4月 第1回ねがいみち駅伝大会に、それぞれ消防団の昔から現在までの服装で出場。



H24年、25年と2年連続で高岡万葉マラソンに出場。消防団をアピールする。

# 成美小学校防災の取組とその成果

高岡市立成美小学校 校長 魚川 洋子



3. 11の東日本大震災で大きく見直された避難訓練。成美小学校は、自分の命を自分で守るために、考える防災教育に取り組んでいます。避難訓練を行う度に新たな課題が生まれ、解決するために子どもたちはまた考える。P D C Aサイクルで取り組む避難訓練は、徐々に進化してきています。

実践の度に課題を見付け方向性を教えてくださるのは、成美消防団の方々です。毎回の避難訓練に参加して子どもの動きを見て課題を示唆して下さいます。指導だけでなく消防団の方々に参加くださると、全体に緊張感が醸し出され、みんな真剣になります。

また、今年10月に行った授業参観後の保護者も巻き込んだ避難訓練では、耐震工事中で児童の安全確保を図るために志貴野交番から応援にきて下さいました。初めて参加した保護者の方も、「子どもが『お母さんこっちやよ』と教えてくれ心強く思った。昔の放送を聞いて先生の指示の元に並んで逃げる避難訓練とは随分様変わりした」と驚いておられました。

5年生は、B F Cの隊員になったことをきっかけに、高岡の町の歴史を調べたり室谷消防分団長さんのお話を聞いたりしました。そして、自分たちで地域を守ろうと、防火の心を伝えるために、防災新聞や防火ポスターを作成して配布したり、火災予防の劇を発表したりしました。これを市や県の火災予防発表会で発表し、輝かしい成績を取めました。

成美消防分団や志貴野交番、地域の皆様のおかげで、成美っ子は防火への意識を高め、いざというとき命を守るために、自ら考え行動できる子どもに育っていることをとてもありがたく思います。



避難訓練



防災会議



小学生火災予防発表会



県大会銀賞受賞

## 成美分団からのお知らせとお願い

### 校下の自主防災組織率を上げよう!

高岡市36校下中、下から4番目の低さです。隣接の平米、能町、二上校下は100%達成。少ない世帯数の自治会は隣接自治会と合同で、分団員が訓練の指導、お手伝いをします!



大坪町2丁目自治会の素晴らしい防災訓練。事前の準備が良く、資料や訓練の内容が濃く、住民の意識の高さがうかがえました。

### 積雪時の消火栓の除雪にご協力を

冬場は消火栓の確保が重要。署員の方や分団員が除雪に回りますが追いつかない事もあります。

### 成美分団 団員募集中!

消防団員の身分は非常勤特別地方公務員で年間1人当たり50,000円前後の報酬が支払われます。公務災害保障や退職報償金制度が整っています。

意欲のある方なら誰でも

### 成美分団の昨年の活動と会計報告

#### 昨年1年間の活動報告

毎月1日・15日定例会、校下巡回  
春・秋火災予防週間校下巡回  
歳末特別警戒28日～31日  
出初式と春季・秋季訓練  
操法訓練約1ヶ月半  
水防訓練1回 出動2回  
火災出動8回 実践訓練2回  
左儀長警戒2会場  
冬期消火栓旗立てと回収  
積雪時の消火栓除雪  
各町自主防災訓練の指導  
成美小学校避難訓練

校下の皆様からご支援頂いている一戸当たり200円の浄財の用途につきましては、昨年末に火の用心のお札と共に各自治会長様にお配りしております。(江尻春日丘、江尻新町、鶴寄町は能町分団)

総額は476,600円です。支出は運営費888,464円、事業費1,116,475円です。不足分は、出初式の際に校下の有志の方々より頂いている貴重な御芳志にて賄っています。

◎団員に支給されている報酬は各人に分配せず、分団の別会計で管理し、各行事の後の直会等の飲食費に充てております。報奨費や退職金の積立てもこの会計で賄っています。

[www.senmaike.net/seibibundan/](http://www.senmaike.net/seibibundan/)  
成美分団 TEL080-6363-7619 分団長 TEL22-3106